



大自然の中で贅沢に
キャンプを楽しむ。

近ごろ話題のグランピング。グラマラスなキャンプを合わせた造語で、ホテルに泊まるような贅沢感のあるのキャンプのことだ。

THE FARMでは、立地が異なる2タイプが用意されている。「リバーサイド」は水辺の周りに16棟のテントが建つ。今年の3月に入りリバーサイドの横にはテントが9棟増設された。バーベキューの器具や食材も準備されていて、快適に楽しむことができる。森のなかに1棟だけしかテントがない「フォレスト」では自然を独り占めできる。

夜になるとサンドベージュのテントが闇に浮かび上がり、幻想的な雰囲気となる。グランピングの中の一つコージヤスなヴィラは2階あり、その景色を堪能することができる。

グランピングのほかに、農園の奥には木材を使ったリラックスできるコテージが16棟ある。部屋にはハンモックが付いている。そのうちの3棟はペットの同伴が可能だ。

今年から自分でテントを立てて本格的なキャンプが

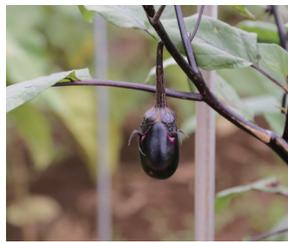
楽しむことのできるフリーサイトもオープンした。一区画がひろく、焚き火で調理ができる。

宿泊以外の施設としては、農園、温泉、カフェ、会議室として使える多目的ホールがある。8月には軽食が楽しめるザファームテラスもオープンした。

アウトドアを楽しみリフレッシュした後に、のどかな農園を眺めながら多目的ホールで会議や研修。最後に温泉に入ると行ったスケジュールで利用する企業も多いそうだ。

育成管理も完璧 貸し農園。

THE FARMの貸し農園は現在100名の会員がいる。年間40品目の多様な種類を作ること何度きても飽きない。作物と作物の間も広めで、人がすれ違いやすくしている。



さらに、THE FARMが作物の育成を管理しているの、気が向いたときに訪れても手入れされた農園で収穫を楽しむことができる。収穫後は、バーベキュー場で野菜を調理したり、そのあとは温泉に入ったりと顧客満足度が高く、リピーターも多い。



充実した アクティビティ。

カヌーはTHE FARMから10数キロほど離れた観光地、佐原で行われる。インストラクターが事前のレクチャーをし、現地では江戸時代に運河で栄え、今でも



残る古くからの日本の街並みを、水上から眺めることができる。このカヌー・ツアーも田山さんの発案だ。そのほか時速40キロで森を駆け抜けるジップスライダーや、星空観察会など自然を全身で感じるレジャーが体験できる。



田山さんに聞いてみた。 運営副部長って、 どんな仕事？



運営副部長としての田山さんの仕事は、事業オペレーション全体の管理だ。

天候によって歩きづらくなった所はないか、朝食メニューの味付けは子供にも配慮しているか、テントの清掃やバーベキューの仕込みは適切かなど細やかな目配りをする。

また、チェックインの対応、インストラクターはうまく機能しているかなど、スタッフの管理も大切な仕事だ。さらに企業とのメールのやりとりや多くの企画書の作成もある。企画書などの作成に使うパソコンのスキルは江戸川大学で学んだものが今でも役に立っているそうだ。

カヌーのアクティビティがある日には、開催地であり観光地でもある佐原の町並みを一通り確認し、川のコンディションや周辺に新しいお店が

できていないかなどもチェックする。スタッフの欠員など不測の事態のフォローも行う。

THE FARMで結婚式が行われるようにもなった。ウェディングは、初めて提案されたときに一から勉強した。会場の配置や進行表の作成や担当の割り当て、さらには、音響のセットなども田山さんが行う。大学時代にDJをしていた経験も活かしているという。

日常の運営だけでなく、施設や設備などを新しく建設するときには、エアコンなどの特殊な設備以外は、田山さんたち従業員も大工さんと一緒に協力して作る。

「責任はあるけど、若い人でもやりたいことがあって、提案すれば実現できる」と、田山さんは自身の職場の魅力を語った。